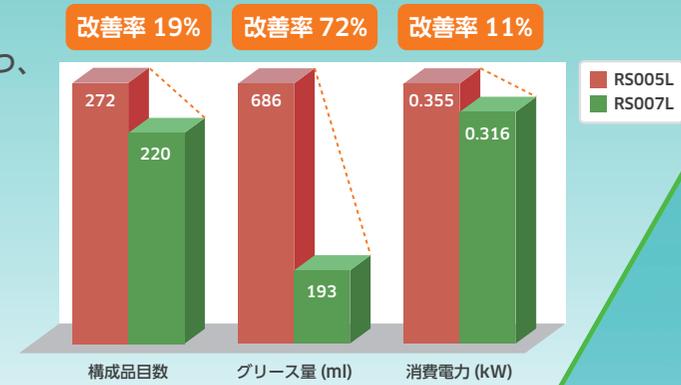


小型ハンドリングロボット RS007シリーズ

パワーレートの向上と高速動作を可能としつつ、
コンパクト化により低消費電力を達成

ロボットアームの片持ち構造化、構成品目数の削減により
スリム化・コンパクト化を果たし、可動部潤滑油の使用量
を70%以上削減するとともに、低消費電力を達成。



2022

Kawasaki
Ecological Frontiers

A class

2019年：初回登録



RS007N

RS007L

製品紹介

業界トップレベルの高速動作性能を備え、広い動作範囲による配置自由度の向上を達成した組立、ハンドリング適用に最適な汎用小規模ロボット

特長

- たわみ予測制御、最適速度・加減速度制御を用いた高速動作
- イーサネット配線内蔵によるビジョンカメラ接続など、柔軟なシステム設計に対応